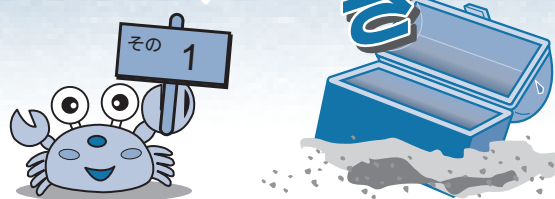


海辺の館のとうておき

波乱万丈の竹島誕生物語



昨年度は、「チャレンジ！海

辺の館の新展開」と題し、海辺に建つ生命の海科学館・竹島水族館・蒲郡市博物館の新しい試みについてお知らせしてまいりました。本年度は、海辺の各館から、私たちのまち蒲郡をいっそう輝かせる、とっておきの物語を皆さまにお届けしてまいります。

宝物ってなんだろう

皆さんは、幼いころ、ガラケタを一生懸命集めたことはありませんか。色のきれいな小石や



子どものころ、お菓子の空き箱や引き出しに集めたもの。結局は、親に怒られて、捨てられてしまうのですが…

貝殻、脚が全部そろっているセミの抜けがらなど。

大人になった今も、家族同様に育ったペットの写真や子供から初めてもらったプレゼントなど、自分にとって大切な宝物を、そっと引き出しの奥にしまっている方もいらっしゃるでしょう。自分にとっての宝物の輝きは、物そのものよりも、むしろ、その物に秘められた物語から生み出されるものかもしれません。

これからお届けする物語が、皆さまにとって、そのような宝物のひとつとなれば幸いです。

さて、初回は蒲郡情報ネットワークセンター・生命の海科学館から、蒲郡のシンボルである竹島の昔話をお送りします。

竹島誕生は深海から

八百富神社が祭られ、対岸と著しく異なる植物相の貴重さから国の天然記念物となっている竹島。島を一周する遊歩道は、とても気持ちのいい散歩コースです。しかし、はるか昔、恐竜たちの時代には、この島は、地下深く潜むドロドロに溶けた灼熱のマグマのかたまりだったのです。



深海底から産出される鉱石「マンガン・ノジュール」

写真は、深海底の海山などに特徴的に見られる、マンガン・ノジュールという鉱石です。マンガンや鉄などの金属を多く含み、丸い形をしているのが特徴で、水深4メートルほどの深海底から多く産出します。金属に富んだ石の成分が、小石などを核に球状に沈着したもので、およそ100万年に厚さ数ミリメートルと、大変ゆっくり成長するといわれています。しかし写真のものは、深海底から拾ってきたものではありません。実は、額田の山中で採集されたものなのです。山中の岩からマンガン・ノジュールが産出するということとは、その場所がはるか昔は深海底であったということになります。そう、今から2億